

21 (2009)
千葉市の図書館
図 1

2009

千葉市の図書館

(平成20年度運営概要)

千葉市教育委員会

目 次

1	千葉市図書館の概要	1
2	略年表	2
3	組織・職員数	4
4	千葉市図書館一覧	5
5	予算	7
6	図書館運営状況	8
(1)	図書館資料整備状況	8
(2)	利用者登録状況	22
(3)	図書館資料貸出状況	24
(4)	予約件数	35
(5)	レファレンス件数	36
(6)	複写サービス	36
(7)	障害者サービス	37
(8)	千葉市図書館ホームページアクセス件数	38
(9)	有料宅配利用状況	38
(10)	来館者数	38
(11)	移動図書館	39
(12)	団体貸出利用状況	40
7	事業活動	41
(1)	企画展示	41
(2)	おはなし会(定例)	42
(3)	主催行事	43
(4)	学校等関連施設との連携活動	47
(5)	刊行物	48
8	コンピュータシステム	49
(1)	導入経緯	49
(2)	平成13年度以降の展開	50
(3)	各図書館端末台数	51
(4)	千葉市図書館システム構成図	52
9	千葉市図書館及び移動図書館ステーション配置図	54
10	千葉市読書施設等一覧	56
(1)	文庫	56
(2)	読書会・その他	57
11	図書館サービス状況	58
付	公民館図書室運営状況	59

1 千葉市図書館の概要

千葉市図書館のあゆみは、昭和 29 年に児童会館（千葉神社前の通町公園内）に児童図書をおいたことにはじまる。昭和 34 年、ライトバンを 1 台購入し、文庫箱にて青少年団体（子供会）に巡回文庫を開始した。昭和 37 年 8 月に移動図書館車を購入し、市内 27 か所を 10 日ごとに巡回した。昭和 40 年、社会センター（院内町 平成 12 年廃止）へ移り、北部図書館の開館まで活動した。

施設としての図書館は、昭和 47 年 6 月の北部図書館開館に始まるが、これに先立ち昭和 45 年 3 月に「千葉市立図書館網計画」を策定した。この計画に沿って、南部図書館、東部図書館、こてはし図書館、高洲図書館、みやこ図書館及び分館を順次整備した。

昭和 55 年 10 月には、市民サービスの一層の充実のために、コンピュータシステムの導入が提案され、昭和 63 年 3 月、高洲図書館とその分館からコンピュータ化に着手して以来、新設館は開設時から、既設館は順次、コンピュータ化が進んだ。

平成 8 年までに、みやこエリア（みやこ図書館・高洲図書館・南部図書館）、東部エリア（北部図書館・東部図書館）、こてはしエリア（こてはし図書館）の 3 エリアそれぞれがホストコンピュータを持ち、パススルー方式による全館オンライン化が完了した。これにより、リアルタイムでの資料検索や貸出、返却業務が可能となった。

一方、分館担当者 1 名で週 3 日の開館をしていた公民館併設分館は、平成 5 年 4 月、公民館図書室となり、公民館職員による運営となった。

平成 11 年 11 月には、1 台のホストコンピュータによるオンライン化が完了し、どこの利用者用端末機からでも、市民が市の全蔵書を検索することが可能となった。

平成 12 年 4 月、緑図書館の開館により各区 1 館体制が整い、これを機に、中央区のみやこ図書館を除き、区名を地区館の名称とした。

中央図書館については、平成 3 年に基本構想がつくられ、平成 6 年 6 月、「(仮称) 千葉市中央図書館・生涯学習センター等複合施設整備計画」が策定され、平成 13 年 4 月に開館した。これにともない、移動図書館も中央図書館に移った。

さらに、それまで職員が週 1 回運搬していた相互貸借業務は、市内を 5 コース（現在 7 コース）に分けて配送するメルカーの運行により、中央館、地区館、分館及び公民館図書室の連携が確立され、「どこでも借りられ、どこでも返せる」ネットワークが整備された。

中央図書館では、開館初年の平成 13 年 4 月に、一部祝日の開館と夜間 9 時までの開館を試験的に行い、平成 14 年 4 月から、祝日開館・夜間開館を本格的に実施した。また、地区図書館分館の整備については、千葉市新 5 か年計画の中で推進し、美浜図書館打瀬分館が平成 14 年 4 月に開館、改築事業を進めてきた花見川図書館花見川団地分館が平成 17 年 4 月に開館、若葉図書館泉分館が平成 18 年 3 月に開館した。

図書館システム及び端末等の更新は、平成 19 年 3 月に実施した。これにより、図書館館内資料検索機で、利用者自らが資料の予約や図書の延長を行うことが可能となるとともに、4 月にはインターネット（パソコン・携帯）を通じての資料の予約や図書の延長、及び自働応答電話を通じての図書の延長を行うことが可能となった。そして同年 10 月、市民を対象に有料での図書館資料宅配サービスを開始し、現在に至っている。

2 略年表

1970. 3. 31 「千葉市立図書館網計画」策定
(S45)
1972. 6. 1 北部図書館（現稲毛図書館）開館
(S47) 6. 26 千葉市立図書館協議会発足（委員10名）
11. 国際図書年記念昭和47年度全国図書館大会が千葉市で開催
12. 千葉市書店協同組合設立
1973. 4. 1 北部図書館で資料の複写サービスを開始
(S48) 6. 電話によるレファレンス業務を開始
11. 5 南部図書館（現白旗分館）開館（南部青少年センターに併設）
1974. 5. 1 南部図書館が市内で初のリクエストサービスを開始
(S49) 8. 1 東部図書館（現若葉図書館）開館
11. 7 南部図書館土気図書室が開室（土気市民センター内）
1975. 3. 31 市立図書館の年間貸出冊数が100万冊を超える
(S50) 6. 10 東部図書館「ふるさとコーナー（全国の電話帳）」を開設
1976. 10. 13 東部図書館「おはなしのじかん」開設
(S51)
1978. 2. 北部図書館の増改築工事
(S53) 5. 1 こてはし図書館（現花見川図書館）開館
6. 20 東部図書館大宮分館開館
1979. 4. 1 市立図書館の資料費予算が1億円を超える
(S54) 6. 5 東部図書館更科分館開館
北部図書館千草台分館開館
7. 1 市立図書館間の相互貸借開始
7. 3 地域・家庭文庫への団体貸出開始
7. 25 こてはし図書館花見川分館開館
1980. 1. 16 「公共図書館サービスネットワークの整備に関する調査」（文部省）実施（～24日）
(S55) 6. 10 こてはし図書館さつきが丘分館開館
こてはし図書館検見川分館開館
10. 2 千葉市立図書館協議会より「千葉市立図書館運営へのコンピュータ・システム導入
について」答申
10. 24 東部図書館西都賀分館開館
11. 16 高洲図書館（現美浜図書館）開館（高洲コミュニティセンターに併設）
1981. 3. 31 市立図書館の年間貸出冊数が200万冊を超える
(S56) 6. 9 北部図書館草野分館開館
こてはし図書館幕張西分館開館
6. 19 各図書館に大型活字本整備
11. 1 障害者への図書の実家配本サービス開始
1983. 2. 9 千葉市立図書館協議会から千葉市立中央図書館の建設促進についての建議
(S58) 6. 18 東部図書館若松分館開館
こてはし図書館長作分館開館
1984. 2. 15 千葉市立中央図書館基本構想検討委員会検討結果報告書の作成
(S59) 3. 31 「図書館関係法令規定集」発行
6. 9 北部図書館山王分館開館
高洲図書館磯辺分館開館
1985. 6. 8 北部図書館緑が丘分館開館
(S60) 北部図書館都賀分館開館
1986. 10. 1 コンピュータ導入による「図書館システムの構築について」—千葉市立図書館コンピュー
(S61) タシステム研究委員会研究結果報告書の作成
1987. 5. 20 高洲図書館幸町分館開館
(S62) 6. 6 こてはし図書館朝日ヶ丘分館開館
1988. 3. 10 図書館コンピュータシステム導入（高洲図書館、磯辺分館、幸町分館をオンライン化）
(S63)